

## 第5学年2組 道徳学習指導案

平成20年12月3日(水) 第4校時  
授業者 教諭

1 主題名 責任を果たす 4-(1) 社会的役割の自覚と責任

2 資料名 残った仕事(東京書籍)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

人はだれでも自分の好きなように行動したいと思っている。しかし、みんなが思いどおりに行動しては社会的な生活は成り立たない。人間社会では、各々が社会的役割を自覚し、その責任をきちんと果たすことが原則である。人々の自己中心的な言動が多く見られる今日、この主題の価値は極めて重要である。数ヶ月後に最高学年になろうとしているこの時期の児童達、また、その先の中学校生活に向けて、集団の中で責任を果たし、互いに協力しようとする態度を養いたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童について

この時期の児童は、学校生活において、高学年としての自分の役割や責任の自覚を深めて、リーダーシップを発揮しなくてはならない機会が多くなってきた。しかし、その役割の大切さは認識できているものの、時に、遊びに誘われたり、めんどうになったり、人まかせにしたりして、自分の役割を忘れて、責任を果たせないことが少なくない。

「自分の役割をふり返ろう」という事前アンケートからは、クラスの児童全員が、責任を持って役割を果たせた経験と役割をしっかりと果たせなかった経験の両方を持っていることが分かった。係活動や委員会活動においても、ただ決められた仕事だけを果たしている児童が目立つ。そうした児童達に今後は、身近な集団の活動に積極的に参加し、自分の役割を自覚して主体的に責任を果たし、協力しようとする態度を養っていきたい。

(3) 資料について

本資料は、図書係に与えられた仕事を係の3人で果たそうとするものの、結局は果たせなかったという内容である。その理由は、遊びに誘われて出ていった道夫、道夫の仕事を自分が引き受けるとして認めた佐代子の存在による。道夫と佐代子の、それぞれ質的に少し異なる責任の所在を理解させ、きちんと責任を果たすことの大切さを感じ取らせることで、ねらいに迫りたい。学校生活を円滑に行うためには、自分の役割を自覚し、責任をきちんと果たし、互いに協力しようとする態度を養うのに適した資料である。

(4) 指導について

事前に、学級や学校・地域の中で児童が担っている役割について把握しておきたい。また、責任を持つて仕事のできた経験や反対に役割を十分に果たせなかった経験について振り返りをさせておきたい。

本時では、道夫の行動、佐代子の態度に対する主人公の心情や考え方について話し合わせたい。中心発問では、責任の在り方や取り方について考えさせ、本校の研究テーマ「思いをふくらませ表現することのできる子どもの育成」を受け、それぞれの思いをグループで十分話し合わせたい。そして、一人一人がこれまでの取り組みを振り返り、これから責任をしっかりと果たせるよう、ワークシートに自分の思いを書かせ、実践へとつなげたい。終末では、責任を持って役割を果たした卒業生の話を聞かせ、意欲を高めたい。また、今後とも一人一人の活動を注意深く見守り、その役割をしっかりと果たしている児童に関しては、学級全体に紹介し称賛するように努めたい。

4 本時のねらい

集団の中で進んで責任を果たし、協力しようとする態度を養う。

5 準備物

切り抜き絵、ワークシート、中学校だより

6 本時の展開

過程	主な発問と予想される児童の反応	支援（・）と評価（☆）
気づく	<p>1. 自分の役割について発表し合う。</p> <p>○みなさんは、どんな役割を持ち、その役割をどんなふうに果たしていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団登校の班長として、安全に登校している。</li> <li>・自然委員会で、インコの世話をしっかりしている。</li> <li>・社会係で、本やノートを休み時間に配った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役割について振り返らせることで、価値への方向付けを図る。</li> </ul>
考える・深める	<p>2. 資料「残った仕事」を読んで話し合う。</p> <p>○久しぶりのよい天気で、校庭からも楽しそうな声が聞こえている中で仕事を始めた「ぼく」は、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくも外で思いきり遊びたいな。</li> <li>・明日から貸し出せるようにするためにはがまんしなくては。</li> </ul> <p>○次郎が道夫や佐代子に話しかけているのを聞いていた「ぼく」は、どんなことを思っていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次郎は、自分勝手だな。係の仕事をしているのに。</li> <li>・道夫が係の仕事をしらないのは無責任だ。</li> <li>・佐代子も、引き受けちゃだめだ。</li> </ul> <p>○佐代子が引き受け、道夫がにこにここと教室を出ていったのを見た「ぼく」は、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ佐代子は引き受けたんだろう。</li> <li>・ふたりだけでできるかな。</li> <li>・道夫は、いいかげんだな。</li> </ul> <p>◎仕事が残ってしまった後、「勝った、勝った。」と言いながら道夫がもどってきたとき、「ぼく」は道夫や佐代子のしたことについて、どんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道夫は、いい気なもんだ。なんて無責任なんだろう。</li> <li>・佐代子も勝手に引き受けたから、責任を果たせなかったんだ。断ればよかったのに。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でも遊びたいのをがまんしようとしている主人公の気持ちに共感させる。</li> <li>・次郎の勝手な言い分に対して、道夫や佐代子にもはっきり断ってほしいと思っている主人公の心情を考えさせたい。</li> <li>・道夫の無責任さと佐代子の引き受けたからには責任が存在するという点に関して、グループで十分話し合わせたい。</li> </ul>
見つめる	<p>3. 自分のこれまでの在り方を見つめる。</p> <p>○今まで、自分の役割をきちんと果たしてきましたか。あなたは、これから、どんなことに気を付け、自分の役割を果たしていきますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからは、自分の仕事を忘れてしまわないで、責任を持ってしっかりやりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身をしっかり見つめさせるため、ワークシートに書かせたい。</li> <li>☆役割と責任について考えることができたか。 (発表・ワークシート)</li> </ul>
高める	<p>4. 教師の話聞く。</p> <p>○先生の話をお聞きしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・責任を持って役割を果たした卒業生の話をお聞かせ、意欲を高める。</li> </ul>

7 授業の観点

ねらいに迫るために、事前調査をしたり、中心発問では、グループで話し合わせたりしたことは効果的であったか。